

令和5年4月16日
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多クラブ対和白新町パイレーツ戦

他の2会場がグラウンド不良で中止の中、パイレーツがベテラン松園選手（66歳）らの活躍で奈多クラブに快勝。

写真：ブルーマーリンス 山本 憲明

奈多グラウンド 初回の掴みは抜群の試合展開。勝利を制したのは・・・

奈多クラブ (2敗) 1 4 0 1 0 6 木下●—安河内

和白新町パイレーツ (1勝1敗) 1 6 5 2 0 14 岩吉○—朝野

HR: 住田 (奈多ク) 3BH: 松園 (新町パ) 2BH: 今林卓 (奈多ク) 朝野2 (新町パ)

一回表奈多クラブの攻撃は、一番住田選手が初球を右中間スタンドへ突き刺す先頭打者本塁打を放ち先制する。和白新町パイレーツの岩吉投手は、1点を奪われるものの、後続を打ち取り最小失点で切り抜ける。その裏パイレーツの攻撃は、二死満塁から六番朝野選手が押し出しの四球を選び1点を奪い返す。奈多クラブ木下投手は後続を抑え、こちらも最小失点に抑える。二回表、奈多クラブの攻撃は六番今林 (卓) 選手の三塁線をやぶる痛烈な二塁打からチャンスを作ると、八番木下選手、四番今林 (亮) 選手の適時打などで一挙4点を奪って勝ち越しに成功する。その裏パイレーツは、3安打3四球、相手3エラーで一挙6点を奪うビクイニングで逆転に成功。続く三回裏パイレーツは、松園選手の左中間をやぶる2点三塁打などで5点を追加する。四回裏パイレーツは良い当たりが続くも、奈多クラブのレフト今林 (亮) 選手の好捕が続き1点止まり。両チームとも好打が目立ち見るものを楽しませる試合展開となった。(記事:ブルーマーリンス 江頭 秀一、写真:山本 憲明)



和白新町パイレーツ



試合前の整列。



奈多クラブ番住田選手の先頭打者初球ホームラン。



奈多クラブ先発の木下投手。

三回裏、

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
奈多クラブ	1	4	0	1	0			6
新町パイレーツ	1	6	5	2	0			14
TIME	:		NEXT	-				

和白新町パイレーツ完勝のスコアボード。



和白新町パイレーツのヒーロー松菌選手（#8）（66歳）を囲んで。

青松園Aのソルトベスターズ対三苦三球会、同じくBの新町ウィンズ対奈多サンデーズ戦は、ともにグラウンド不良のため中止。